

学会便り 第140回春期大会報告

第30回「女性会員の会」報告

The 30th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子¹・関 史江²Tomoko OHSHIMA¹ and Fumie SEKI²

2回目のオンライン開催となった第140回春期大会中、5月15日(土)12:20~13:10入退室自由の、第30回女性会員の会をオンラインで開催しました。参加者は合計15名(女性10名、男性5名)。初参加は1名で、院生(博2)でした。オンライン開催のため、今回も各自昼食と飲物を用意してPC前に集合しました。参加者はマイクをミュート、カメラはONにして、お互いの顔が見える状態で開催しました。

今回は託児室設置を中止しましたが、オンライン開催時の託児費用補助について意見が出たので、今後検討し提案したいと考えています。

【自己紹介：氏名・所属，ひとこと】

参加者には自己紹介と共に「コロナと私と」をテーマに、2年目に入った新型コロナウイルスとの付き合い方について勤務状況、プライベートにわたりスピーチしていただきました。

勤務状況

大学では対面での授業が増えつつあり、前回報告があったような在宅勤務を継続している教員の方はいらっしゃいませんでした。しかし、公共交通機関の利用制限があるために大学近傍に住む学生しか登校できない大学もあるようです。また、研究室への入室制限があるので研究に必要な試料作製が滞っている学生の中には、試料作製に必要な装置を持ち出した強者もいたとか。教員も学生の登校状況を把握・管理する業務が増えるなか、予想外の業務が増えた、との報告もありました。

企業では製造業の方が多いからか、従来通りの出勤・勤務をされている方がほとんどのようでした。出勤はできても出張禁止の指示が出た企業も多く、早い時間に帰宅でき家族で過ごす時間が増えた、との報告もありました。

コロナ禍で人の移動に制限がかけられたことで昨年からオンラインでの活動が急速に広まりましたが、おかげで授業の方式が増えた、会議の予定を多く入れるようになりゆっくり考える時間が減った、ウェビナーをつい申し込んでしまう、など「仕事のやり方」に一部変化が出てきているようです。

プライベート

今回は「娘が結婚した」「初孫が誕生した」とおめでたい報告が続きました。

一方、感染防止のため別居している家族(両親・祖父母)と会えない方も多く居られました。

オンライン開催のメリット・デメリット

第139回秋期大会に続いてオンラインで女性会員の会を開催しましたが、参加者の多くは自宅から接続されていました。このため、スピーチ中にお子さんが画面に入ってきて、ほっこりする場面もありました。これまでの女性会員の会でお子さんが参加することはありましたが、複数のお子さんが参加したことはなかったので、参加者の家族模様が垣間見える点はオンライン開催のメリットではないかと感じました。

一方で、中締め後の飛び入り参加もありましたが、初参加の方が1名だったのはとても残念でした。従来は世話人が講演大会の合間に、会場で見かけた新人へ声掛け・勧誘をしていましたが、オンラインでは新人へ個別の声掛けが難しく、今後の課題だと感じました。新規女子学生たちへの案内をさらに検討したいと思います。オンラインで本会を実施する方法など、皆様のご意見をお寄せ下さい。

次の第141回秋期大会のオンライン開催が決定しました。次回女性会員の会もオンラインで開催します。女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎です。飛び入り参加も大歓迎、多くの方の参加をお待ちしています。



参加者の写真撮影 (2021.5.15)

第140回春期講演大会中の関係行事

第4回男女共同参画セッション「身近な無意識のバイアス」

講師 (株)ダイバーシティオフィスKITAO 代表

北尾真理子氏 5月15日(土)17:30~18:20

¹ 株式会社TYK (岐阜県多治見市)² 元 東京大学 (東京都国立市)

受付日: 2021年6月9日